# 10人のKOMA座談会 Style

## 一人ひとり、それぞれの『巨摩スタイル』

**座談会出席者**　B～Dは生徒会にも所属

| | | |
|---|---|---|
| 3年 | Ⓐ…前生徒会長・サッカー部 | Ⓑ…テニス部 |
| | Ⓒ…陸上競技部 | Ⓓ…茶道部 |
| | Ⓔ…野球部 | Ⓕ…ホッケー部 |
| 2年 | Ⓖ…生徒会長・山岳部 | Ⓗ…生徒会副会長・茶道部 |
| 1年 | Ⓘ…生徒会副会長 | |
| | Ⓙ…生徒会役員・茶道部・バスケットボール部マネージャー | |

**司会…卒業を控えた今、巨摩高校を選んでよかったことは何ですか？**

Ⓐ…多くの仲間と会えたことかな。特に生徒会長として、学校をよりよくするために様々なことに関わり、その経験を通じて、自分も成長できました。

Ⓑ…3年間、5組で勉強も大変なこともありましたが、クラス全体で、部活と勉強の両立を目指し、切磋琢磨していくのが巨摩高のいいところだと思いました。

Ⓒ…自分が巨摩高を選んだのは陸上が強いからでした。3年間全力で打ち込める恵まれた練習環境でした。

Ⓓ…私は特に勉強と生徒会活動に頑張ってきました。どんなことにも一生懸命頑張れる環境が整っているところがよかったと思います

Ⓔ…私は野球部でした。土日も毎回練習や試合で忙しかったのですが、夜8時には練習を切り上げ、テスト期間はオフになっていて、自分の意識次第で勉強にも部活にも集中することができました。

Ⓕ…私は部活で、思うようにプレーできない時や、周囲との関係で悩んでいる時に、すぐにチームメイトや顧問の先生が相談に乗ってくれました。人間関係に恵まれていました。

**司会…後輩の皆さんから3年生に聞きたいことを質問してください。**

Ⓖ…勉強も効率よくする秘訣を教えてください。

Ⓐ…部活、その後生徒会で夜8時まで学校にいて、家に帰って、勉強は早くても9時からしかできませんでした。いろいろやりすぎて疲れて眠い時は早く寝て、早朝に勉強するようにしました。そちらのほうが頭に入りやすかったです。

Ⓙ…定期試験はどのように取り組みましたか。

Ⓓ…理想としては2週間前に準備を始めたかったのですが、様々な行事もあり、本格的には1週間前になってしまいました。その時期は登校前、下校後のすべての時間を試験準備に使いました。

Ⓑ…私も「やらなきゃいけない」という気持ちをつくって、時間の許す限り勉強に取り組みました。気持ちが沈んでしまったら息抜きをするようにもしました。

Ⓗ…進路はどのようにして決めましたか。

Ⓒ…将来は中学校の体育教員になりたいという夢がありました。また、大学でも陸上競技を続けたかったので、それも考慮しました。

Ⓔ…部活で培った体力や、1年生からこつこつ続けてきた勉強をもとにして、地域に貢献したいと考え、公務員試験で消防士の試験を受けました。

Ⓕ…私は小学生の時からホッケーを12年間続けてきて、大学でホッケーを続ける選択もありました。でも将来は、看護師になりたいと考えて、看護専門学校を選びました。

Ⓘ…学校生活で一番印象に残っていることは何ですか。

Ⓒ…部活の最後の県大会前に、肉離れやねんざをしていて、当日も完治していないまま8種目競技に臨みました。棄権したい気持ちもありましたが、部長として総合優勝に向けて自らも貢献したいというプライドも同時にありました。仲間、後輩、見に来てくれた家族、顧問の先生の応援もあって、結局全種目全力でやり切りました。苦しかったけれども、一番、陸上競技が楽しいと思えた瞬間でした。

**司会…最後に後輩の皆さんへのアドバイスをお願いします。**

Ⓐ…何事もやると決めたら最後まで妥協せずにやることです。失敗や挫折があっても、真面目にやった分、改善点がよく見えてきます。そこから人は大きく成長できると思います。

Ⓑ…何にでも挑戦することが大切です。自分の得意なことや好きなことに体当たりして、嫌なものにも少しは手を出してみてください。そこから結果が出て、自分の将来のためになると思います。

Ⓓ…どんなことでも自分の目標に向かって、強い意志を持ち、努力し続けることが大切だと思います。自分が本当に叶えたい目標があれば、最後まで続けられるので、あきらめないで頑張ってほしいと思います。

Ⓔ…一日一日を大切にしてください。部活でも、毎週の小テストでも、成果を出せるように計画を立ててください。勉強だったら「この日に何をやるか、何時間やるか」をしっかり決めてやっていくと進路実現につながっていくと思います。

Ⓕ…毎日をずっと一生懸命でいることはつらいと思います。だから、3日に1度くらいでも頑張った自分に、ご褒美をあげてください。私は、特に部活で毎日厳しい練習の中で、自分へのご褒美をよく考えていました。「家に帰ったら一番風呂に入るぞ」とか、「帰りに自販機でドリンクを買ってテレビ見ながら飲もう」とか、本当にちょっとしたことでいいです。毎日が楽しく変わると思います。

**司会…貴重な体験談をありがとうございました。**

## わくわくサイエンス in 巨摩高

12月14日（土）、地域の小中学生に科学の魅力を伝えるために、本校1年理数創造コース生と2・3年生の有志がナビゲーターとなり、「わくわくサイエンスin巨摩高」が開催されました。66名の保護者、109名の小中学生が参加し、スライム作りなど14の理科実験を楽しんでいただきました。

## 巨摩フェスタ　テーマは『令和最初の巨摩フェス』

2月1日（土）南アルプス市のあやめホールで実施。訪れた小中学生、保護者、地域の方の数は約150人。文化局それぞれの発表や展示は、観客の皆さんを心から楽しませる伝統を受け継いだ内容でした。しかし新しい取組みとして、最後に吹奏楽部の伴奏で、パプリカ・ダンスを客席のお客さんと一緒に踊りました。文化部エンターテインメントのチャレンジはこれからも続きます。

## 絆と学びを深めた4日間　行ってきました!!　修学旅行 in 沖縄

### 修学旅行を通して　2年5組　深澤 未夢

私たち2年生は、4日間の沖縄修学旅行で、多くのことを学びました。本州とは異なる気候や自然環境、料理や舞踊、基地問題など私たちの知らない世界がそこにありました。中でも、資料館で見た戦時中の写真は目を覆いたくなるものがありました。沖縄戦時の人々が感じた恐怖や辛さ、そして悲しみを知り尽くすことはできません。しかし私たちは戦争が人々を不幸にすることを心に刻み、今の平和のありがたさを忘れずにいたいと思います。最後に、沖縄の人々の心の拠り所である、首里城が一日も早く復活することを祈ります。

## 生命（いのち）の授業　あなたが生まれ育ってきた道、そしてこれから

11月22日、山梨県道徳教育推進協議会の新藤京子先生をお招きし、3年生と近隣住民の方向けに、「しなやかな心の育成」講演会が進修館で実施されました。生徒は自分の命を大事にすること、そしてよい家族を作る大切さを学びました。生徒が本物の赤ちゃんを抱く機会もあり、自分自身小さい生命の存在だったことを実感できました。